

角館の伝統芸能



ささらのそもそもは、
佐竹家が常陸から秋田に
国替えとなり、
下向の際、
佐竹義宣公にお供して
道々殿様をお慰めして来たものが
土地に定着したものといわれ、
四百年以上の歴史を持つ行事です。
現在は盆行事の一つとして、
祖霊と新仏供養、五穀豊穡のために
スラ(舞うこと)られています。

昼の部

奉納・披露

白岩雲巖寺奉納舞

14:30頃 ● 白岩ささら ● 堂野口ささら

角館樺細工伝承館前広場

14:00～ ● 広久内ささら ● 居合術

ささら観光行事

8月15日 金

夜の部

立町ポケットパーク

角館郵便局前～立町十字路

18:00～21:00 [歩行者天国=17:00～22:00]



- ① 18:00～18:20 ● 広久内ささら
- ② 18:25～18:45 ● 白岩ささら
- ③ 18:50～19:05 ● 踊りパレード
- ④ 19:30～19:45 ● 踊りパレード
- ⑤ 19:50～20:10 ● 広久内ささら
- ⑥ 20:15～20:35 ● 白岩ささら

踊りパレード

- 角館音頭を踊ろう会と市内の小学校の皆さんによる、「角館音頭」と「おやまこ」の踊りパレードを披露します。
- 角館小唄を復活させる会による、「踊り・角館小唄」の披露に、今年は浅野沙樹さん(唄)、角館葵会(三味線)の皆さんが参加します。

立町商店会

屋台

振舞酒

焼どり・焼そば
生ビール等

商店街でも演舞

- 駅前会場[駅前蔵横]…………… 19:00～19:20 ● 広久内ささら
- 駅通り会場[渡部なると餅店隣り駐車場]…… 19:30～19:50 ● 白岩ささら

角館の伝統芸能

盆舞



堂野口ささら

広久内ささら

白岩ささら

伝承地	堂野口地域	白岩広久内地域	白岩地域
上演場所	水神社・雲巖寺・藪田・部落内	白山神社・五社神社・稲荷神社 雲巖寺・部落内	雲巖寺・白岩神明社・部落内
日程 (8月)	7日 笠揃い 水神社で舞う 13日 夕方/水神社で舞った後、部落内へ 14日 朝から部落廻り 15日 昼2時/雲巖寺 夜/角館の送り盆行事 17日 笠納め	7日 夜/足揃い 白山神社 13日 白山神社で舞った後、部落内へ 14日 午後6時から部落廻り 15日 朝6時まで 15日 昼/樺細工伝承館 夜/角館の送り盆行事 17日 広久内 五社神社 18日 広久内 稲荷神社 19日 笠納め	7日 夜/白岩神明社 13日 夜/雲巖寺 14日 朝から部落廻り 15日 昼2時/雲巖寺 夜/角館の送り盆行事 16日 部落廻り 20日 白岩神明社 笠納め
構成	①舞手(ささらスリ) 赤獅子1 女獅子1 男獅子1 カラス[赤の烏面に頬被り、ささらを持つ] ②笛(3~4名) ③謡あげ(5~6名)	①舞手(ささらスリ) 黒1[雄獅子] 赤2[角の大きい方が雄獅子、小さい方が雌獅子] ザッザカ[ひよっとこに頬被り、ささらを持つ] オーセイ[長い顔の面を被り、周りの厄を祓いながら、ささらの道先案内をする] ②笛(3~4名) ③謡あげ(5~6名)	①舞手(ささらスリ) 黒1[雄獅子] 赤1[雄獅子] 緑1[メ獅子(子供獅子)] ザッザカ[ひよっとこに頬被り、ささらを持つ] ②笛(3~4名) ③謡あげ(2~3名)
演目	①なで渡り[道中(その場所まで行く途中)] ②宿入り[二ワに入った時(家の前に入った時)] ③舞の演目 神立ち(かんだち)=奉納舞 神楽(かぐら)=奉納舞 恋慕(れんぼ)=供養舞 八割り(はちわり) 踞(ねまり)=供養舞 大名行列の場合 先払い2名 ぼんぼり1名 旗持ち1名 唐神1名 大将1名 刀持1名 棒つかい4~8名 十束一俵1名 鉄箱(はさんばこ)1名 唐団扇1名 ザッザカ1名 獅子3名	①なで渡り[道中(その場所まで行く途中)] ②宿入り[二ワに入った時(家の前に入った時)] ③舞の演目 恋慕(れんぼ)=供養舞 狂い(くるい)=奉納舞 踞(ねまり)=供養舞	①なで渡り[道中(その場所まで行く途中)] ②宿入り[二ワに入った時(家の前に入った時)] ③舞の演目 神立ち(かんだち)=奉納舞 恋慕(れんぼ)=供養舞 踞(ねまり)=供養舞 つくり 大名行列の場合 先払い2名 ぼんぼり1名 旗持ち1名 唐神1名 大将1名 刀持1名 棒つかい4~8名 十束一俵1名 鉄箱(はさんばこ)1名 唐団扇1名 ザッザカ1名 獅子3名
伝承組織	堂野口若者会 堂野口地域の18歳以上の男子全員が加入。40歳で退会するまで活動	広久内ささら保存会 広久内地域の男子全員が対象で、年齢の制限がなく皆で活動する	白岩若者会 白岩地域内の男子が参加。35歳で退会までの期間活動する